

森林等環境整備事業の評価指標

(案)

資料6

	事業名	事業実績【毎年評価】4年間の合計		事業効果【R4年・R6年に評価】	
		計画	検証方法	期待する効果	検証方法
豪雨災害等の新たな土石流・流木対策	危険渓流の流木対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ◆土石流・流木対策の実施 56危険地区 1160ha (土石流対策) ・治山ダム 116基 ・森林整備 160ha (流木対策) ・溪流延長 10,600m ◆減災対策 ・森林危険情報マップの作成 56箇所 ・防災教室 56回 	<ul style="list-style-type: none"> ◆事業の完成検査 ◆成果品、実施回数確認 	<ul style="list-style-type: none"> ◆事業実施地区の安全の向上 (土石流対策) ・土石流の発生抑制 (流木対策) ・流木の発生抑制 ・林床被覆率の増加 ・土壌の浸透能の向上 ・表面侵食の抑制 ◆防災意識の向上 ・減災対策を行った地域住民の8割 	<ul style="list-style-type: none"> ◆事業実施地区の効果検証 (土石流対策) ・事業実施の確認 (流木対策) ・対照地(対策未実施区)との流木発生比較調査 ・対照地(強度伐採未実施区)との植生等比較調査 ・林床被覆率(植生・落葉等が覆う割合)を測定 ・人工降雨装置を用いた土壌の浸透能(表面流発生の有無)を測定 ・土砂受け箱を用いた表面侵食量(移動した土砂の重量)を測定 ◆減災対策を行った地域住民へのアンケートの実施
都市緑化を活用した猛暑対策	都市緑化を活用した猛暑対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ◆猛暑対策の実施 ・実施箇所 150~200箇所 	<ul style="list-style-type: none"> ◆事業の完成検査 ・整備内容の報告 	<ul style="list-style-type: none"> ◆暑熱環境改善効果の発現 ・暑熱環境改善効果の発現(WBGTの低下) ◆利用者の猛暑対策事業に対する感想 ・対策実施場所が涼しくなったと感じた利用者の割合 	<ul style="list-style-type: none"> ◆WBGTの測定 ・対策実施地点と未実施地点でWBGTを測定して暑熱環境の改善効果を確認 ◆猛暑対策を行った場所の利用者へのアンケートの実施